

美しい日本の

間(あわじ)の芸術文化研究所 主催

食の記憶を辿る..

いま知っておきたいこと、

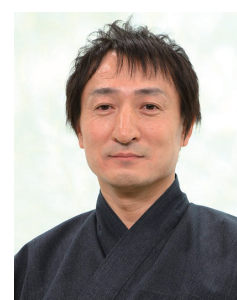
伝えたいこと

廣戸 聡一

〔廣戸道場主宰〕

鈴木 宣弘

〔東京大学大学院特任教授
(財)食料安全保障推進財団
代表理事・理事長〕



二〇二五年四月二〇日〔日〕

開場・十三時

開演・十三時三〇分

——十六時三〇分

神戸・湊川神社神能殿

—プログラム—

- * 鈴木宣弘氏 講演「今日本に必要なのは武器ではなく農業である」
- * 廣戸聡一氏 講演「食による自己管理と骨と伝統的所作の合理性と美しさ」
- * トークセッション「日本の再生は農業を知り護ることと日本人ならではの美意識と美徳を伝承することから始まる」
- * 質疑応答

コロナ禍以降の日本と世界の情勢、食料品の高騰と安全性、真実の不在、神話になりつつある日本人の美徳と美しい所作。グローバル化という変化が日本の根幹を崩壊させつつある昨今、不安や恐怖は増大するばかりです。

神饌であり主食である米にまつわる様々な現実、日本の農業全般へのナンセンスな政策、忍び寄る食料の危機について、憂国の志士の如くご尽力されている鈴木宣弘先生をお招きし、これまでの多大なご研究を基に日本の食料と農業の真実をお話頂きます。

加えて長きにわたり日本を代表する伝統文化のパフォーマーをはじめプロのアスリートたちの食事指導、身体の管理を担っておられる廣戸道場主宰の廣戸聡一先生に人間の骨格の成り立ちを紐解いて頂き、日本人独特の食による自己管理能力を高める方法や所作動作の合理性と美意識についてお話頂きます。

異なる分野のお二人から、不確実な時代に生きる私たちが健全に生きるために知っておきたいこと、伝えたいこととお伺いします。



1958年三重県出身。東京大学大学院特任教授・名誉教授、専門は農業経済学。東京大学農学部卒業後、農林水産省、九州大学大学院教授を経て、平成18年東京大学大学院農学生命科学研究科教授。FTA産官学共同研究会委員、食料・農業・農村政策審議会委員、財務省関税・外国為替等審議会委員、経済産業省産業構造審議会委員、コーネル大学客員教授などを歴任。伊勢の半農半漁の家の一人息子。田植え、稲刈り、海苔摘み、アコヤ貝の掃除、うなぎのシラス獲りなどを手伝い育つ。安全な食料を生産し流通し、消費する人達が支え合い、子や孫の健康で豊かな未来を守りたい、そして今日本に必要なのは武器ではなく農業であるという信念を持って、日本の農業の現実、食と緑と水の環境、食料をめぐる国際情勢について全国各地で講演を重ねる。「国民は知らない「食料危機」と「財務省」の不適切な関係」「食の戦争」等話題の著書多数。

1961年東京都出身。一般社団法人「レッシュ・プロジェクト」代表理事。スポーツ整体「廣戸道場」主宰。日常生活の動作からスポーツ競技、文化芸能における身体動作、コンディショニング、介護、リハビリテーション、栄養摂取まで総合的に指導するアドバイザー。一般から伝統芸能従事者、演奏家、プロアスリートまで30万人を超すケア実績を持つ施療家。人間の身体特性を4種類に分類する『4スタンス理論』を含む、動作における軸、個別身体特性などを解明した総合身体理論『レッシュ理論 (REASH Theory)』を提唱。平成22年度よりJOC (日本オリンピック委員会) 強化スタッフ。日本ゴルフツアー機構 (JGTO) のアドバイザーとして強化合宿などで指導中。2013年より日本プロ野球千葉ロッテマリーンズとアドバイザー契約し、現在までにテクニカル・プレイヤーズ・デベロップメント・インストラクターとして選手を指導。身体コンディショニングに関する著書多数。

鈴木宣弘
すげきのぶひろ
〔東京大学大学院特任教授、
（財）食料安全保障推進財団代表理事・理事長〕



美しい日本の食の記憶を辿る： いま知っておきたいこと、伝えたいこと

2025年4月20日〔日〕
開場 | 13時 開演 | 13時30分 — 16時30分

参加費 | 3,800円 [定員300名・全席指定]
ご参加ご希望の方は以下のアドレスにお名前と連絡先電話番号をご送信ください。
アドレス [mm.smile.arigato@gmail.com]
こちらからの返信メールにお席番号と費用のお振込み先を連絡させていただきます。

主催 | 間（あわい）の芸術文化研究所 問い合わせ | 080-6174-8148 [担当:和田]

神戸・湊川神社神能殿
神戸市中央区多聞通3-1-1
<http://www.minatogawajinja.or.jp>

【アクセス】
JR神戸線「神戸」駅 北へ徒歩3分。
阪急・阪神・山陽各線「高速神戸」駅 東改札すぐ。
神戸市営地下鉄「大倉山」駅 南へ徒歩5分。

